

過程と完全 (7 x 7)

2011年5月15日 リバイブ・イスラエル・ミニストリーズ

アシェル・イントレーター

私は通常聖書的な数字について教えません。それは、イエシュア(イエス)という個人や信仰の原則、完全性、そして主との関係を強調したいからです。今週のトラーの箇所はオメルを数えることとヨベルの年について語っており、数字の7が繰り返されていることを否定するのは困難なことです。数字の7は聖書全体を通して時の過程とその過程が完成へと至ることを表しています。

1. 創造 - 神は世界を7日間で創造された。
2. 安息日 - 私たちは第7日目に休むよう命じられた。
3. オメル - 過越の祭りからペンテコステ(シャヴオット)までは7週×7。
4. 安息年(シュミター) - 7年毎に負債が帳消しとなる。
5. ヨベルの年 - 7年×7回の後、土地は回復し解放が宣言される。
6. ラツパの祭り - 過越の祭りから秋の祭りまで7ヶ月。
7. 千年王国 - メシアが7千年目に千年間地上を支配する。

イエシュアは、神の御国は段階を経て訪れると(マルコ 4:26-29)教えられました。7という数字は神による段階と過程を理解することを教えます。それはまた終わりの時に起こることが最初からすでに計画されていることを示します。ラビは、安息日は週の最終日であるという事実は、原則の証明として、「最後に行われたことは最初に計画されたもの」と述べています。第7段階目に起こることは最初の段階で起こったことの目標なのです。

第7段階であり最終段階はまた終わりには完全に上手く行くことを示しています。異なった段階の異なった要素はその過程の中においてつながっているように見えませんが、第7段階においてそれらはすべて一緒になるのです。

ペンテコステの祈り

どうか、イスラエルにいるメシアニックジューの牧師や祈りのグループ、そして世界中の祈りのネットワークと共に、ペンテコステ(シャヴオット)の前夜祭、6月7日午後10時~8日の午前10時まで(イスラエル時間(訳注:日本時間は6/8(水)朝5時から6/8(水)午後5時まで))の祈りに加わる準備をし続けて頂きたいと存じます。その時私たちは世界的なりバイバルを、使徒 2:17に基づいて執り成しの祈りを行います。詳細は後日お知らせ致します。

パキスタンの祈り

パキスタン人宣教師であり私たちのパートナーである「A 師」より

最近、イスラム組織はパキスタン政府を独占化するために一層力を入れています。クリスチャンは迫害がより厳しくなることを恐れています。ムハンマドに反することを何であれ言うことは違法です。イスラム教徒は仕事で問題があった時、彼らはよくクリスチャンを非難しようとします。クリスチャンが無実であっても、イスラム教徒はクリスチャンがムハンマドを冒涇したと嘘をつくことがあるのです。

過去半年の間、人々はこの「冒涇」によって死刑に処せられました。二人の政府の閣僚、一人のクリスチャン、そして一人の穏健なイスラム教徒が最近イスラム聖戦主義者によって、単にこの冒涇法に反対すると述べただけで殺害されました。

ウサマ・ビンラディンが死亡したと報道されて以来、パキスタンにいるクリスチャンはビンラディンの復讐をするためにイスラム過激派が以前よりも活発化する可能性について脅威を抱いています。先月、ある教会とキリスト教系の学校がコーランを冒涇しているということで非難されました。多くのクリスチャンは命を狙われることを恐れて街を逃れました。治安部隊は彼らを守ろうとしません。

パキスタンにいるイスラム教徒はクリスチャンがイスラム教に強引に改宗するよう強要してきています。イスラム教の信仰を宣言することを拒絶した者に対して殺害すると脅しています。どうか私の家族、パキスタンにいるすべてのクリスチャンのために、冒涇法が除かれることを、クリスチャンが一致することを、平和のために、そしてパキスタン人のイスラム教徒が真理を知りキリストの訪れがあることをお祈り下さい。

ナクバの日

マティ・シヨシャニ

5月15日の日曜日はパレスチナ人の「ナクバ（破壊）の日」、すなわちです。1948年のイスラエル独立戦争に続いて人口の入れ替えが行われたことを記念する日です。

第二次世界大戦の終わりに、大量の人口退出と入れ替えが行われました。何百万人という人々、ポーランド人、インド人、パキスタン人、ウクライナ人、ルーマニア人、ドイツ人、ユダヤ人、そしてアラブ人が逃亡しました。二千万人以上の人々がヨーロッパだけでも1945年～1951年の間に入れ替わりました。1960年代の終わりに、第二次世界大戦の避難民はそれぞれの国で市民として全員吸収されましたが、パレスチナ人はそうなりませんでした。

推定 610,000 人のパレスチナ人が 1948 年に強制的に家から逃れ、一方 850,000 を超えるユダヤ人はアラブ諸国から強制的に立ち退かされました(ユダヤ人にとってのナクバ)。

アラブ諸国がパレスチナ人避難民を自国の市民として吸収することを拒否したのは、単に非人道的であっただけでなく、それは彼らが永続的にユダヤ人国家に対して闘いをしかけるように仕向ける計画された戦略だったのです。1959 年、アラブ連盟は決議 1457 を採択しました。それには「アラブ諸国はパレスチナ人の背景を持つ人々からの申請があっても、彼らに市民権を付与することを拒絶し、それによって受け入れ国による吸収が起こらないようにするためである。」と述べられています。この驚くべき、奇妙な決議は類似する避難民の状況に関するすべての国際法や規範に反するものです。[詳細はベン・ドロル・イエミニ「アラブのアパルトヘイト」マアリヴ誌 2011 年 5 月 13 日を参照の事。] イスラエル当局は「犠牲者ゼロ」を全軍に、両サイドに対して暴力を最小限に抑えるように司令しました。「ナクバの日」の出来事は、イスラエルに対する国際的な非難がピークに達すると共に、今年以前より高い一般市民の関心呼びました。イスラエルはアパルトヘイト国家であると非難されてきました。以下、イスラエル人とアラブ人が共に暮らしていることと、アパルトヘイトの非難について、興味深い写真をお届けします。



ユダヤ人とアラブ人がスーパーマーケットで一緒にショッピングしている。
イスラエル側において。
「アパルトヘイト？」



ユダヤ人とアラブ人が死海で一緒に泳いでいる。
「アパルトヘイト？」



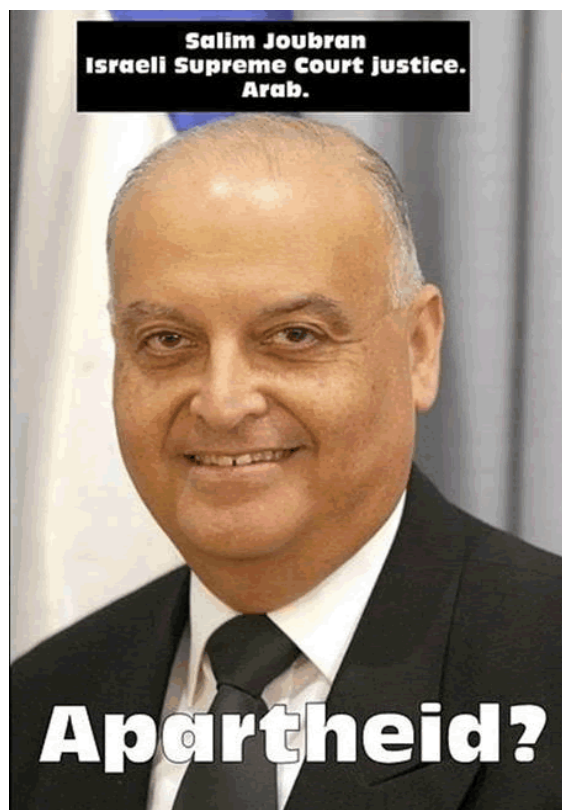
ワリッド・バディール。イスラエル人サッカースター選手。ハポエル・テル・アビブの主将でアラブ人。
「アパルトヘイト？」



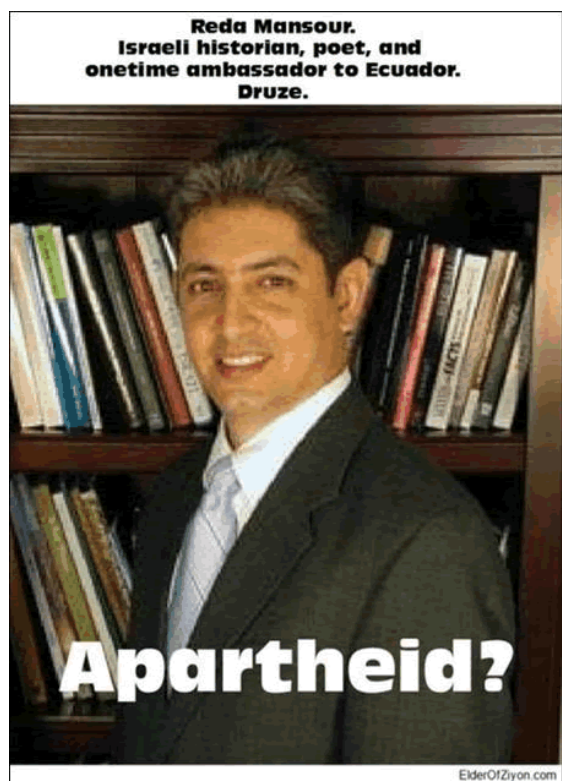
ラナ・ラスラン。前ミス・イスラエル。アラブ人。
「アパルトヘイト？」



マジラリー・ワハビー。イスラエル国会の前副議長。
2007年2月の大統領代行。ドルーズ人。
「アパルトヘイト？」



サリム・ジョウブラン。イスラエル最高裁判事。
アラブ人。
「アパルトヘイト？」



レダ・マンソール。イスラエル人歴史家、詩人、そして一期間エクアドル大使を務める。
ドルーズ人。
「アパルトヘイト？」



パレスチナ当局は、アラブ人は誰でもユダヤ人に土地を売れば死罪となるべきと語っている。

これこそアパルトヘイトです！



「パレスチナ人の土地に一人たりともイスラエル人が住むことを私は許可しない。」
マフマウド・アッバース。2010年7月28日。
エジプトのメディアに語る。

これこそアパルトヘイトです！